

ストラテジ系

企業活動	企業が自社の商品やサービスを顧客に提供し、その対価としてお金を稼ぐための日々の活動
経営理念	それぞれの企業が活動する際の指針となる最も基本的で大切な考え方
ビジョン	企業が目指す将来の姿
経営戦略	ビジョンを実現するための具体的な方法を示した行動計画
株式会社	株式を発行して資金を集め、そのお金を用いて経営を行っていく会社のこと
株主	株式を購入した出資者
株主総会	会社の最高意思決定機関
CSR	企業が社会的存在として果たすべき責任のこと
グリーン IT	情報技術 (IT) を活用し社会の環境負荷を低減する取組の1つで、IT そのものの環境負荷低減と IT による環境負荷低減の2つの側面を持つ
ダイバーシティ (多様性)	性別や年齢、国籍など様々な属性を持つ人材が活躍できる環境やそれらを生かす考え方
ディスクロージャー	企業や組織が重要な情報を公開すること
ソーシャルビジネス	子育てや介護、環境問題といった社会的課題を、ビジネスの手法を活用して解決していく企業活動のこと
社会的責任投資	企業が社会および環境に関する配慮を企業活動およびステークホルダとの相互作用の中に取り入れようとする概念
SDGs	持続可能な世界を実現するための 17 の国際目標のこと
経営資源	企業がライバル企業との競争に勝つために使う資源
HRM	社員などの「ヒト」を経営資源の1つと考え、人的資源を有効活用すること
OJT	実際の業務を通じた教育訓練

Off-JT	座学で行われる教育訓練
HR Tech	人事評価や人材採用などの人事関連業務に, AI や IoT といったテクノロジーを活用する手法
e ラーニング	パソコンやインターネットなどの情報技術を使った学習方法
アダプティブラーニング	生徒(受講者)一人ひとりの習熟度や苦手分野に応じて, その生徒に最も適した学習内容を提供する教育手法
職能別組織	業務を専門的な機能に分けて, 各職能別組織機能を単位として構成する組織
事業部制組織	事業内容ごとに構成された組織
マトリックス組織	社員が, 職能別部門の要素と, 事業部門の両方に所属する組織形態
プロジェクト組織	プロジェクトごとに各部門から専門スキルを有した人材を集めて結成する一時的な組織
持株会社	子会社の株式を所有している親会社のこと
CEO (最高経営責任者)	業務の最終的な責任を追う役職
CIO (最高情報責任者)	情報システムを統括する役割
COO (最高執行責任者)	日々の業務執行の責任を負う役割
パレート図	棒グラフと折れ線グラフを組み合わせたグラフ
ABC 分析	データをパレート図で表し, 「データの重要度」に応じて, データを3つのグループにランク分けする分析手法
ヒストグラム	データをいくつかの区間に分けて, その区間ごとのデータの数を棒グラフで表したグラフ
レーダーチャート	複数のデータを放射状に線を引いて表した図
散布図	縦軸と横軸に2種類のデータの関係性を表す図

回帰分析	「回帰直線」(散布図内の点が多く集まっている所に引いた直線)を使って、過去のデータがどのような原因によって引き起こされているのか分析し、将来を予測する手法
期待値	確率的に決まる平均値
ブレーンストーミング	複数人で集まって自由にアイディアを出し合う方法
損益分岐点	売上高と費用が等しくなり、損益及び利益が 0 になる点のこと
変動費	売上高に応じて変動する費用
固定費	売上高にかかわらず発生する費用
損益分岐点売上高	売上高と費用の額が等しくなる売上高
財務諸表	企業の経済活動を数値で表したもの
貸借対照表	会社の資産、負債、および資本の状況が記載された表
自己資本比率	総資本に対する自己資本の割合
損益計算書	会社の収益、費用、および利益または損失が記載された書類
キャッシュフロー計算書	会社の営業活動、投資活動、財務活動における現金の流れが記録された書類
知的財産権	発明やデザインなどを保護するための制度
著作権	コンピュータプログラム、音楽、映像、漫画などの創作物に対する権利
産業財産権	知的財産権の 1 つで、特許権、実用新案権、意匠権、商標権の 4 つの権利の総称
不正競争防止法	企業間の公正な競争を保護し、不正な競争を禁止するための法律
サイバーセキュリティ基本法	世界的なサイバーセキュリティの脅威に対応するため、サイバーセキュリティを強化することを目的とした法律
不正アクセス禁止法	コンピュータネットワーク上で他人の ID やパスワードを無許可で使用して認証が必要なページにアクセスする行為を禁止する法律

雇用契約	労働者が会社から直接、雇用と指示を受ける契約形態
労働者派遣契約	労働者が派遣元から雇用を受け、派遣先から指示を受ける契約
請負契約	受注者が仕事の完成を約束し、発注者がその仕事に報酬を支払う契約
完全責任	仕事の完成をもって報酬を支払う約束
契約不適合責任	完成した仕事に契約と適合しない部分があった場合の責任は、指示を出した請負会社が負う
コンプライアンス	企業が法律やルールを守ること
個人情報保護法	氏名、住所、電話番号など、個人が特定できる情報（身体的特徴なども含む）を正しく取り扱うための法律
個人情報取扱事業者	人情報を取り扱う企業のこと
コーポレートガバナンス	企業の経営を、株主などの利害関係者が監視する仕組み
情報公開法	行政機関が持つ情報の公開を求めることができる法律
ソーシャルメディアポリシー	企業が定めるソーシャルメディアの利用ガイドライン
JANコード	1次元の線で表現される世界共通の商品識別番号
QRコード	数字だけでなく、英字や漢字など多くの情報を記録できる、日本企業が開発した2次元コード
ISO	国際的な規格を決める組織
デファクトスタンダード	特定の企業が開発した仕様が幅広く利用された結果、事実上の業界標準になったもの
フォーラム標準	複数の企業などが集まり、フォーラムと呼ばれる組織が結成され、その組織が業界の実質的な標準をつくるもの
SWOT分析	企業戦略を立てる上で、会社の経営環境を「Strength（強み）」、「Weakness（弱み）」、「Opportunity（機会）」、「Threat（脅威）」の4つに分類する手法
PPM	自社の資源を投下すべき製品や、撤退すべき製品を分析するための手法

花形	市場成長率が高く、かつ市場占有率が高い製品
問題児	市場成長率が高く、かつ市場占有率が低い製品
負け犬	市場成長率が低く、かつ市場占有率の低い製品
金のなる木	市場成長率が低く、かつ市場占有率が高い製品
コトラーの競争戦略	市場シェアの大きさによって企業を「リーダー」「チャレンジャー」「フォロワー」「ニッチャー」の4つに分類する理論
リーダー	業界でトップシェアを持つ企業
チャレンジャー	業界で第2位以下の企業
フォロワー	業界で第2位以下の企業だが、チャレンジャーのようにリーダーを倒すリスクは負わない企業
ニッチャー	ニッチな市場を狙うシェアの低い企業
M&A	会社の買収・合併
アライアンス	企業同士が連携すること
ジョイントベンチャー	M&A とアライアンスの中間の形態で、複数の企業が共同で出資して新たに会社を作ること
ベンチャー企業	急成長する新興企業のこと
IPO	自社の株式を株式市場に公開すること
TOB	会社の経営権の取得を目的とした株の買い付けを、公表して行うこと
MBO	経営陣による自社買収のこと
アウトソーシング	自社の業務を他社に外注すること
資本提携	企業同士がお互いの株式を持ち合い、協力関係を強化すること
マーケティングミックス	マーケティングの目標を達成するために用いる、自社がコントール可能な戦略要素を組み合わせたもの

4P	マーケティングミックスを構成する主要な要素で、企業側（売り手）の視点を重視した考え方 Product（商品）、Price（価格）、Place（流通）、Promotion（販売促進）
4C	顧客（買い手）の視点を重視した考え方 Consumer value（顧客価値）、Cost（価格）、Convention（利便性）、Communication（コミュニケーション）
RFM分析	顧客の購買行動を分析し、優良顧客を見つけるための分析手法
イノベーター理論	新たな製品（商品・サービス）などの市場における普及率を示すマーケティング理論
イノベーター	最も早く製品を採用する消費者
アーリーアダプター	新しく出た商品にいち早く目をつけて購入する消費者
アーリーマジョリティ	新たな製品の採用に対して慎重な姿勢を取っている消費者
レイトマジョリティ	新しいモノの採用に対して懐疑的であったり消極的であったりする消費者
ラガード	保守的であり、新しいモノに対して全く興味・関心を持っていない消費者
UX	利用者が商品やサービスを利用することで得られる体験
マーチャンダイジング	適切な商品を、適切な時期に、適切な価格で、適切な量を、適切な場所で提供するマーケティング戦略
ダイレクトマーケティング	ダイレクトメールや電話などを用いて、商品を直接消費者に売ること
セグメントマーケティング	市場を細分化して、それぞれのセグメントに適したマーケティングを行うこと
オムニチャネル	実店舗とオンラインストアを連携させて商品を提供する考え方
BSC	「財務」「顧客」「業務プロセス」「学習と成長」の4つの視点から業績評価を行う手法
CSF	戦略目標を達成するために必要となる具体的な要因

KPI	戦略目標の達成状況を表す指標
ERP (企業資源計画)	経営資源 (ヒト, モノ, カネ, 情報) を統合的に管理する手法
CRM (顧客関係管理)	顧客との良好な関係を築くことで長期的な利益を得る手法
SCM (供給連鎖管理)	社内だけでなく, 社外も含めた調達・生産・販売などのプロセス全体の最適化を行う手法
SFA(営業支援システム)	営業ノウハウを共有するためのシステム
ナレッジマネジメント	個人の知識や情報を組織全体で共有すること
TOC	体のパフォーマンスが特定のボトルネックによって制限されているという理論
オープンイノベーション	組織外の知識や技術を積極的に活用することで, 社会を変革するような商品やサービスを生み出すこと
ハッカソン	開発者が集まってアイディアを出し合い, 短い期間で製品を作り, その成果を競うイベント
API エコノミー	他社サービスを利用することで, 自社だけでは実現できない価値を生み出す仕組み
魔の川	新規事業において 3 大関門と呼ばれる障壁のひとつで, この段階で製品開発に進まなければ, これまで費やした研究コストが水の泡になる
死の谷	新規事業において 3 大関門と呼ばれる障壁のひとつで, 多額の開発コストをかけた製品が事業化しなければ, 経営資金が底をついて経営破綻すること
ダーウィンの海	新規事業において 3 大関門と呼ばれる障壁のひとつで, 事業化された商品が競合他社との競争で自然淘汰されること
キャズム	商品が市場でシェアを拡大する際に障壁となる「溝」のこと
技術ロードマップ	技術予測手法の 1 つで, いつどのような技術が実現しそうかを時間軸で表した表
RFID	電波を用いることで直接触れることなく情報をやりとりする技術
IC タグ	RFID を利用した電子的な荷札

NFC	近距離無線通信の規格
GPS	3つ以上の人衛星の電波を使って、現在位置を測定するためのシステム
AI	人間の知的な振る舞いをコンピュータ上に再現する技術やその研究分野
説明可能なAI	その決定やプロセスを人間が理解しやすい形で説明できる人工知能
ヒューマンインザループ	AIなどによって自動化が進んだ機械やシステムにおいて、一部の判断や制御に人間を介入させること
トロッコ問題	倫理学における思考実験の一つで、人間の道徳的判断を問うもの
ディープフェイク	「ディープラーニング」と「フェイク」を組み合わせた造語で、人物の動画や音声を人工的に合成する処理技術
ハルシネーション	AIが事実に基づかない情報を生成する現象
オプトアウトポリシー	ユーザーからの情報提供を拒否すること
機械学習	AIを支える技術の一つで、人間が持つ学習能力をコンピュータ上で再現し、学習用データを与えることで、コンピュータ自身で数値予測やカテゴリー分類などのタスクを解くことができる
教師あり学習	入力データと正解データをペアにしてコンピュータに与えて学習する手法
教師なし学習	正解データを与えず、入力データのみを与えて学習する手法
強化学習	ある環境における報酬を最大化するように試行錯誤を通して学習する手法
エンジニアリングシステム	生産プロセスを自動化するシステム
CAD	製品の設計をコンピュータで行うシステム
CAM	CADで作成された設計図面のデータを元に、工作機械を操作するためのプログラムを作成するシステム
コンカレントエンジニアリング	製品の開発プロセスを同時並行で行う手法

受注生産方式	顧客からの注文を受けてから生産を開始する生産方式
見込生産方式	顧客からの注文は待たずに、生産開始時の計画に基づいて見込み数量を生産する生産方式
JIT 生産方式	必要な物を、必要なときに、必要な量だけ生産する生産方式
ライン生産方式	ベルトコンベアなどで製品を移動させながら、所定の位置にいる作業者が順番に組み立て作業を行う生産方式
セル生産方式	L字型やU字型に部品を配置した「セル」と呼ばれる作業エリアで、1人または少人数の作業者が組み立て工程を一貫して行う生産方式
EC	インターネット上で商品を取引すること
ロングテール	普段ほとんど売れない商品であっても、その種類が多くなると、大きな売上になるという法則
フリーミアム	基本的な機能を無料で提供しながら、追加機能やサービスを有料で提供するビジネスモデル
無店舗販売	物理的な店舗を持たずに商品やサービスを販売する方法
O2O	WEBサイトやインターネット広告、SNSなどのオンラインで広く情報発信し、集めた見込み客を実店舗(=オフライン)へ誘導して購買を促す施策
フィンテック	「金融(Finance)」と「技術(Technology)」を組み合わせた造語で、金融サービスにおける革新的な技術
キャッシュレス決済	現金を使用せずに決済を行う方法
EDI	異なる組織に設置されている端末間で、通信回線を介して取引のためのメッセージ(データ)を交換すること
EFT	紙幣や硬貨、手形、小切手などの受け渡しによらずに、コンピュータネットワークを通じて取引の決済や送金などに伴う資金移動を行うこと
クラウドファンディング	インターネットを介して多数の人々から資金を集めること

エスクローサービス	インターネット上の取引を安全に行うために、売り手と買い手の間に入って決済を仲介するサービス
クラウドソーシング	企業や個人事業主がインターネットを通じて、不特定多数の人に業務を発注する仕組み
暗号資産	インターネットを通じて使用できる財産的価値のことで、基盤技術にはブロックチェーンが用いられており、代金の支払いや投機目的など様々な用途に利用されている
IoT	家電や自動車などの様々なモノがインターネットに繋がること
ドローン	無人で遠隔操作または自律的に飛行する航空機のこと
スマートグラス	拡張現実（AR）や混合現実（MR）技術を利用した眼鏡型のデバイス
スマートスピーカー	音声認識とインターネット接続機能を備えたスピーカー
コネクテッドカー	インターネットや他のデバイスと接続可能な自動車
CASE	今後の新しい車の開発の軸となる考え方を表現したもので、Connected（コネクティッド）、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）の頭文字をとって作られた造語
MaaS（Mobility as a Service）	「サービスとしての移動」という意味で、デジタル技術を活用して複数の交通手段を統合し、ユーザーにシームレスな移動体験を提供する仕組みを指す
スマートファクトリー	最先端の情報技術、通信技術、自動化技術を工場運営に統合し、生産性と効率を向上させる製造システム
スマート農業	情報技術、自動化技術、環境監視技術を農業に適用し、生産性の向上、効率的な資源利用、作業の自動化などを図る農業の形態
マシンビジョン	カメラやセンサーを用いて物体やシーンを捉え、コンピュータによって解析し、特定のタスクに応じた意思決定を行う技術

HEMS (Home Energy Management System)	家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム
組み込みシステム	家電製品、自動車、医療機器、産業機械など、特定の機能を実行するために組み込まれたコンピュータシステム
ロボティックス	ロボットの物理的フレームワークを構築する機械工学、その動力システムを支える電気・電子工学、さらにこれらを統制するプログラミングを担う情報工学を融合させた学問領域
ファームウェア	電子機器に組み込まれたコンピュータシステム（ハードウェア）を制御するためのソフトウェア
情報システム戦略	経営戦略を実現するために立案され、企業全体の経営戦略やビジネスモデル、事業戦略を効果的に支援し、実現するための役割を担う
EA (エンタープライズアーキテクチャ)	組織のビジネス構造と IT システムの構造を統合的に設計し、管理するためのフレームワーク
エンタープライズサーチ	組織内に点在する様々なシステムに蓄積されているデータを、一元的に検索するための仕組み
SoR	主に組織の基本的な運用データを記録し、管理するシステム
SoE	顧客や従業員とのインタラクションを促進し、強化するためのシステム
業務プロセス	日常に行われる業務の流れや仕事の手順のこと
モデリング	現実世界にある複雑なものを簡略化
業務モデル	業務プロセスを簡略化して表された図や表のこと
DFD (データフロー図)	システム内のデータの流れを図式化したもの
BPR	業務プロセスを抜本的に再設計する手法
BPM	業務プロセスを継続的に改善する手法
グループウェア	共同作業を複数人で円滑に行うためのソフトウェア

RPA	ソフトウェアロボットによる事務作業の自動化のこと
テレワーク	IT を利用して業務時間や就業場所に制限されなく働くこと
シェアリングエコノミー	乗り物や家、物や知識などの個人や企業が持つ遊休資産を、インターネットを通じて他の個人や企業に共有する仕組み
ソリューションビジネス	顧客の業務上の問題を解決するサービス、または情報システム
オンプレミス	自社の敷地に自社のサーバを置くこと
ハウジングサービス	他社の敷地に自社のサーバを置くサービスのこと
ホスティングサービス	他社の敷地に置かれた、他社が所有しているサーバを借りるサービスのことで、契約しているサーバの所在が明確
クラウドコンピューティング	他社の敷地に置かれた、他社が所有しているサーバを借りるサービスのことで、契約しているサーバの所在が不明瞭
IaaS	ハードウェアなどの基盤をインターネット上で提供するサービス
PaaS	アプリケーションソフトウェアを動かすために必要な土台をインターネット上で提供するサービス
SaaS	ソフトウェアをインターネット上で提供するサービス
DaaS	デスクトップ環境をインターネット上で提供するサービスのことで、複数の PC で同じデスクトップ環境を共有できる
BI	自社に蓄積されているデータを分析して、経営の意思決定に役立てようとする手法や技術
データウェアハウス	データの倉庫を意味し、意思決定に役立てるためのデータの集まり
ビッグデータ	巨大なデータ群のこと
データマイニング	大量のデータを分析し、有益なパターンやルールを見出すための技術
テキストマイニング	大量のテキストデータをコンピュータで解析する技術

データサイエンス	人工知能 (AI) 技術や統計学などの複数分野の手法を用いてデータから「価値」を引き出すための研究分野
デジタルディバイド	情報リテラシーの違いによって生じる、経済的・社会的な格差 (ディバイド)
デジタルトランスフォーメーション	データやデジタル技術を活用し、デジタル技術を社会に浸透させることにより、経営や人々の生活を良いものへと変革すること
システム開発	必要なハードウェアを調達し、必要な機能を持ったソフトウェアを新たに作ること
ソフトウェアライフサイクルプロセス	ソフトウェアの企画、要件定義、開発、運用、保守までの一連の活動で、それらの活動内容を定義した国際規格
共通フレーム	ソフトウェア開発とその取引を適正化するために、それらのベースとなる作業項目を一つひとつ定義したガイドライン
企画プロセス	経営の目標を達成するために、システムに必要な要件を集め、計画を立てるプロセスのこと
ROI	投資利益率のことで、費用対効果を評価するための指標
要件定義プロセス	新規業務のシステムの仕様や機能を明確にし、システム取得者側の利害関係者間で合意するプロセス
RFI	発注元の情報システム部門がベンダーに対して、ベンダーの実績や技術、経験などの情報を送るよう要求する文書
RFP	発注候補のベンダーに対して、具体的なシステム設計や機器構成、受注条件などを記載した提案書の提出を依頼する文書

マネジメント系

システム要件定義	どのようなシステムを作るのかを、開発会社と明確にするためのプロセス
共同レビュー	注元とベンダーと一緒にレビューすること
ソフトウェア品質特性	ソフトウェアの品質をどのように評価するかを定めた規格
プログラミング	プログラム言語を用いてアルゴリズムを記述し、コンピュータに特定の計算やタスクを実行させるための指示を出す行為
テスト	システムが仕様どおりに動くかどうかを確認する工程
単体テスト	開発者がプログラムに誤りがないことを検証すること
結合テスト	開発者が単体テストが完了したプログラム同士を組み合わせ、データの受け渡しや、連携がうまくいくかを検証すること
システムテスト	開発者が応答時間や稼働時間等を含むシステム要件が仕様通りに動作するかを検証すること
運用テスト	ユーザーが本番環境と同じ条件下でシステムを運用し、業務要件どおりにシステムが動作することを検証すること
ホワイトボックステスト	入力したデータが、意図どおりに処理されているかを、プログラムの内部構造を分析して確認するテスト手法
ブラックボックステスト	入力と出力だけに着目し、ある入力に対して仕様書どおりの出力が得られるかどうかを確認するテスト手法
ソフトウェア受け入れ	開発者が作成したソフトウェアを発注者に納品する工程
ソフトウェア保守	稼働中に発見されたバグの修正や、ソフトウェアに新機能を追加して改良する工程
ソフトウェア開発モデル	ソフトウェアの開発手順や開発方法をモデル化したもの

ウォーターフォールモデル	ソフトウェアの開発プロセスを上流工程から下流工程へ向かって一直線に順番に進めていく開発モデル
アジャイル開発	短期間にソフトウェアの開発とリリースを繰り返し、ビジネス環境の変化やユーザーのニーズに柔軟に対応する開発モデル
XP (エクストリームプログラミング)	アジャイル開発の手法の1つで、19の実践が定義された開発手法
テスト駆動開発	通常はプログラムを書いた後に行う単体テストを、順序を逆にして先に行い、このテストを通るようにプログラムを書く開発手法
ペアプログラミング	2人のプログラマが1つのパソコンを使い、ソフトウェアを開発する手法
リファクタリング	プログラムの機能仕様は変えずに、内部構造を変えること
スクラム	「チームが一丸となってプロジェクトを遂行する」という意味のアジャイル開発の1つ
プロジェクト	期限内に独自にモノやサービスを作るための業務
プロジェクトマネージャ	プロジェクトを管理する人
プロジェクトマネジメント	システム構築プロジェクトを計画された通りに遂行させる
PMBOK	プロジェクトマネジメントに関するノウハウや方法をまとめたもの
WBS	プロジェクトという1つの大きな作業を細かい作業単位に分割すること
ガントチャート	プロジェクトの進捗状況を視覚的に把握できるようにした図
アローダイアグラム	作業計画を立てる際に、手順を矢印で表した図
クリティカルパス	プロジェクトにおいてプロジェクト全体に最も時間のかかる経路のこと
サービスマネジメント	顧客のニーズに合った安定的かつ効率的なITサービスを提供するための管理手法
サービスレベル	ユーザーに対するサービスの品質のこと

ITIL	IT サービスマネジメントの最良の事例（ベストプラクティス）が書かれた書籍
サービスレベル合意書	提供するサービスの品質と範囲を明らかにし、サービスの提供者とその利用者の間で合意し、プロセスを文書にまとめたもの
サービスレベル管理	PDCA サイクルを回してサービスレベルの維持・継続的改善を図る活動のこと
サービスデスク	システムの操作や技術などのトラブルに対して電子メールや電話などで問い合わせ対応する業務や窓口のこと
FAQ	よくある質問とその答えをまとめたもの
チャットボット	会話形式で AI（人工知能）技術を活用し、自動的に問い合わせに応じる仕組み
ファシリティマネジメント	企業や団体が組織活動のために、建物や設備の保有する設備資産を管理する活動のこと
UPS	落雷などによる予期せぬ停電が発生した際に、電源を供給する機器に対し、一時的に電力を供給する装置
自家発電装置	長時間の停電が発生したときに、電力を供給するための装置
BCM（事業継続管理）	大規模災害などで、企業活動を支える重要な情報システムに障害が発生した場合でも、企業活動が継続できるように事前に計画し準備しておくための経営手法
BCP（事業継続計画）	火災や事故などの予期せぬ事態が起きたとき、事業を継続し止めないためにまとめた計画
システム監査	企業の情報システムの信頼性・安全性・効率性などの向上のために、管理と運用が適切かどうかを一定の基準に基づいて客観的に点検・検証するプロセス
システム監査人	監査対象から独立した立場で、公平かつ客観的にリスクのコントロールが適切に行われているかどうかを評価する責務を持っている人
システム監査基準	システム監査業務の品質を確保し、有効かつ効率的に監査するための実施基準を定めた行動規範

内部統制

健全かつ効率的な組織運営のための体制を、企業などが自ら構築し運用する仕組み

職務分掌

業務が正しく行われるように各担当者の職責と権限を適切に分離すること

モニタリング

内部統制が機能しているかを継続的に評価するプロセス

レピュテーションリスク

企業のマイナスの評判が広がることにより、企業のブランドや信用が低下する潜在的な経営リスク

IT ガバナンス

取締役会等がステークホルダーのニーズに基づき、組織体の価値及び組織体への信頼を向上させるために、組織体における IT の利活用のあるべき姿を示す
IT 戦略と方針の策定及びその実現のための活動

テクノロジ系

10進法	0～9の10種類の数字で表現され、1桁に10個の数字が集まるときに桁が1つ上がる表記法
2進法	数を0と1の2種類の数字で表現する数の表し方
16進数	0～9の10種類の数値とA～Fのアルファベットを用いて表現され、10進数の「16」のときに、桁が1つ繰り上がる数
基數	桁上がりの基準となる数値のことで、10進数であれば、基數は10で、2進数であれば基數は2になる
集合	区別できる複数の要素を1つにまとめたもの
命題	真か偽かを明確に判定できる文や式のことで、具体的な事実に基づき、その真偽が確認できる
ベン図	複数の集合の関係を図で表したもので、異なる集合の共通点や相違点が一目でわかる
論理演算	真理値(真または偽)を扱う演算の一種で、条件判断やデータの処理に広く使用される
真理値表	論理演算における入力値とその出力結果を一覧表にまとめたもの
確率	ある事象が起こる確からしさを数値で表したもの
順列	異なるn個のものからr個を取り出して一列に並べる方法の総数を指す
組み合わせ	異なるn個のものからr個を選ぶ選び方の総数を指し、選んだものの順序は考慮しない
統計	集められたデータから有意義な情報を抽出し、解釈するための方法や理論のこと
平均値	一連の数値の合計を数値の総数で割った値
中央値(メジアン)	データを大きさの順に並べたとき、中央に位置する値
外れ値	他の観測値から大きく離れたデータ点のことを指す
最頻値(モード)	データセット内で最も頻繁に出現する値

分散	データがその平均値からどれだけ離れて散らばっているかを示す値
標準偏差	分散の平方根を取ったもので、データの散らばり具合を示す
回帰分析	1つまたは複数の独立変数と従属変数との間の関係をモデル化し、予測する統計的手法
相関分析	2つの変数間の相関関係の存在と強さを調べる統計手法
相関係数	2つの変数間の相関の強さを -1 から $+1$ の範囲で数値化したもの
仮説検定	統計的な証拠に基づいて、ある仮説が正しいかどうかを判断する統計学の手法の1つ
ビット	コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 または 1 の2進数で表され、8ビットが集まると1バイトになる
バイト	8ビット集まつたものであり、コンピュータのデータ処理や記憶の基本単位
デジタル化	アナログ情報をデジタル信号に変換するプロセス
量子化	連続的なアナログ信号を離散的なデジタル値に変換するプロセス
標本化	連続的な信号から一定の時間間隔で値を取り出すこと
符号化	サンプリングされたデータをビット列に変換すること
ルールベース	明確な条件と規則に基づいて意思決定や問題解決を行う AI の技術
ニューラルネットワーク	人間の脳の神経細胞ネットワークを模倣した計算モデル
バックプロパゲーション	ニューラルネットワークの学習過程で誤差を減少させるために、出力層から入力層へと誤差を逆伝播させる方法
活性化関数	ニューラルネットワーク内の各ニューロンの出力を決定する関数で、非線形性を導入し複雑な問題を解けるようにするための関数

過学習	モデルが訓練データに過剰に適応し、新しいデータに対する汎化能力が低下する現象
ディープラーニング	多層ニューラルネットワークを用いた学習手法で、高度に複雑な問題を解決できる
事前学習	特定のタスクに対する学習を開始する前に、大量のデータで予めネットワークを訓練すること
ファインチューニング	事前学習済みのモデルを特定のタスクに合わせて微調整するプロセス
転移学習	ある領域で学習したモデルの知識を、別の領域のタスクに適用する手法
畳み込みニューラルネットワーク	画像認識などの視覚的タスクに特化したニューラルネットワークの一種
再帰的ニューラルネットワーク	時系列データや自然言語などの連続したデータを処理するために設計されたネットワーク
敵対的生成ネットワーク	実在しないデータを生成する能力を持つ、生成モデルと識別モデルが競争する形で学習するネットワーク
大規模言語モデル	膨大なテキストデータから言語の構造を学習し、自然言語処理タスクに適用される大規模な言語モデル
プロンプトエンジニアリング	特定の出力を得るために AI モデルに指示する入力（プロンプト）を工夫する技術
データ構造	データを効率的に扱うためのデータの格納や整理の方法
リスト	順序を持ったデータの集合で、各データが前後のデータと関連付けられている構造
スタック	後入れ先出し（LIFO : Last In First Out）の原則に基づいたデータ構造で、追加したデータは逆の順番で取り出される
キュー	先入れ先出し（FIFO : First In First Out）の原則に基づいたデータ構造で、一方の端からデータを追加し、もう一方の端からデータを取り出す
木構造	ノードと呼ばれるデータの要素と、ノード間を繋ぐ枝で構成される階層型のデータ構造

2分木	各ノードが最大 2 つの子ノードを持つことができる木構造で、データの整理や検索に用いられる
アルゴリズム	問題を解決するための手順や処理の流れを明確に定義したもの
フローチャート	アルゴリズムやプログラムの処理手順、プロセスの流れを視覚的に表現するための図
線形探索法	リストの先頭から順に要素を調べる最も基本的な探索方法
2分探索法	事前にソートされたリストを半分に分けながら目的の値を探す効率的な方法
選択ソート	リストから最小（または最大）の要素を選び、リストの先頭に移動させていく方法
バブルソート	隣接する要素を比較し、必要に応じて交換していく方法で、大量のデータには適していない
クイックソート	ピボットを用いてリストを分割し、それぞれを再帰的にソートしていく方法で、平均的な実行時間は非常に効率的
C	手続き型プログラミングをサポートする汎用のプログラミング言語で、オペレーティングシステムや組み込みシステム開発に広く使用される
Fortran	数値計算や科学技術計算に強みを持つ高級プログラム言語で、長い歴史を持つ
Java	オブジェクト指向プログラミングをサポートし、書いたプログラムがさまざまなプラットフォームで実行できる「Write Once, Run Anywhere」が特徴
C++	C 言語をベースにオブジェクト指向機能を追加したプログラム言語で、システム開発からアプリケーション開発まで幅広く使用される
Python	シンプルで読みやすい文法を持ち、初心者からプロフェッショナルまで幅広い分野で利用されるプログラム言語
JavaScript	Web ページの動的な動作を実現するために使用されるスクリプト言語で、フロントエンド開発に不可欠

R	統計計算やグラフィックスのためのプログラム言語で、データ分析や統計解析に広く利用される
モジュール分割	プログラムを機能ごとに独立した部分にすることで再利用性と保守性を向上させる
メインルーチン	プログラムの主要な処理を行う
サブルーチン	特定の機能を実現するために用いられ、ともにコードの構造を明確にする
ライブラリ	特定の機能を提供するプログラムの集まりで、開発者が簡単に機能を組み込めるようにするもの
API	異なるプログラム間で機能を共有するためのインターフェースで、ソフトウェアの連携を容易にする
ローコード	少ないコーディングで迅速な開発を実現するプラットフォーム
ノーコード	コーディング知識がなくても使用できるプラットフォーム
擬似言語	実際のプログラム言語の文法にとらわれずに、アルゴリズムのロジックや処理の流れを人間が理解しやすい形で記述するための言語
マークアップ言語	データの構造や意味を定義するためにタグや記号を用いる言語で、HTMLやXMLなどがある
JSON	異なるプログラム言語間でデータを取り扱う際によく使用される軽量なデータ記述言語
集中処理	全てのデータ処理を単一のコンピュータシステムが担う形態
分散処理	複数のコンピュータがネットワークを通じて協力し、データ処理を分担する形態
並列処理	複数のプロセッサやコンピュータが協力して、一つの処理を同時に実行すること
レプリケーション	データやコンピュータシステムの複数を作成し、それらを異なる場所に配置すること
デュアルシステム	2つのシステムが互いにバックアップし合う構成で、一方が障害に遭った際にもう一方が処理を引き継ぐことで、高い可用性を実現する

デュプレックスシステム	同じシステムや処理を 2 つのシステムで同時にを行い、一方に障害が発生した場合にはもう一方が処理を継続することで、連続したサービス提供を可能にする
RAID	複数のディスクを組み合わせて 1 つの論理的なディスクとして利用する技術
RAID 0 (ストライピング)	データを複数のディスクに分散して書き込むことで、データへのアクセスの高速化を実現する技術
RAID 1 (ミラーリング)	同じデータを 2 台のディスクに書き込むことで、1 台のディスクが故障した場合のデータの消失を防ぐ技術
NAS	無線 LAN などのネットワークを経由して使用するファイルサーバ専用装置
対話型処理	ユーザーからの入力に基づいて即時に処理を行い、結果を返す方式
リアルタイム処理	厳密な時間制約のもとでデータを処理する方式
バッチ処理	大量のデータやタスクを一括して処理する方式
クライアントサーバシステム	サービスを提供するサーバと、そのサービスを利用するクライアントから成るシステムで、多くのネットワーク環境で採用されている
仮想化	物理的なリソースを論理的に分割または統合して利用する技術で、ホスト型、ハイパーバイザ型、コンテナ型がある
VM	物理的なハードウェア上に仮想的なコンピュータを作成する技術で、複数の OS を同時に実行できる
VDI	デスクトップ環境をデータセンターに集約し、ネットワーク経由で提供する技術で、管理の効率化とセキュリティ向上に貢献する
Web システム	Web 技術を利用して情報やサービスを提供するシステムで、広範なアクセスが可能
ピアツーピア	個々のコンピュータが直接通信を行うネットワーク構成で、中央サーバを必要としない

クラスタ	複数のコンピュータが協力して1つのシステムとして機能する構成で、処理能力の向上や冗長性の確保に寄与する
新クライアント	処理の大部分をサーバ側で行い、クライアント側は入出力のみを担うシステムで、管理の集約化とコスト削減を実現する
マイグレーション	システムやデータを新しい環境へ移行するプロセスで、技術更新や性能向上のために行われる
レスポンスタイム	ユーザーの要求に対してシステムがどれだけ迅速に反応するかを示す時間
ベンチマーク	システムやコンポーネントの性能を評価するために用いられるテストや評価基準
MTBF（平均故障間隔）	システムが故障せずに正しく動作していた時間の平均値を示す指標
MTTR（平均修理時間）	システムが故障してから修理されるまでに要する平均時間を示す指標
稼働率	システムが故障せずに正常に動作している時間の割合を示す指標
初期コスト	システムを導入するために必要な一時的な費用
運用コスト	システムを日常的に稼働させるために発生する継続的な費用
TCO	システムを導入し、運用する全期間にわたる総コスト
演算	コンピュータにおける計算処理のことで、CPU（中央処理装置）が行う
制御	コンピュータシステムの各部を統括し、正確に動作させるためのプロセス
記憶	データやプログラムを一時的または永続的に保存すること
入力	ユーザーや他のシステムからコンピュータへデータを送信すること
出力	コンピュータが処理した結果をユーザーや他のシステムに伝達すること

CPU	中央処理装置（Central Processing Unit）の略で、コンピュータの演算や制御を担う主要な部品
マルチコアプロセッサ	1 つの CPU チップ上に複数の処理コアを持つプロセッサ
GPU	グラフィック処理装置（Graphics Processing Unit）のこと、主に画像やビデオ処理を高速に行うために設計されている
クロック周波数	プロセッサが一秒間に実行するサイクル数を示す指標で、一般にギガヘルツ（GHz）で表される
RAM	コンピュータの作業領域として使用される揮発性メモリ
DRAM	繰り返し再書き込み動作を行う RAM
SRAM	一定時間ごとに記録内容の再書き込み処理（リフレッシュ動作）を行う必要のない RAM
ROM	電源が切れても情報が消えない不揮発性メモリ
揮発性メモリ	電源を切るとデータが消失するメモリのこと、高圧で一時的な情報の保存に適している
不揮発性メモリ	電源が切れてもデータが保持される（データ消えない）メモリのこと、永続的なデータの保存に適している
DDR3 SDRAM	第三世代のダブルデータレート同期動的ランダムアクセスメモリで、高速なデータ転送が可能
DDR4 SDRAM	DDR3 の後継としてさらに高速なデータ転送を実現したメモリ
DIMM	デスクトップ PC などで使用されるメモリ
SO-DIMM	ノート PC などのコンパクトなデバイスで使用される小型のメモリ
HDD	ハードディスクドライブのこと、大量のデータを保存できる磁気記録型の記録媒体
SSD	ソリッドステートドライブのこと、フラッシュメモリを使用しており、HDD に比べて高速なデータアクセスが可能

CD	光学式記録媒体の一種で、音楽やデータの保存に用いられる
DVD	CD よりも大容量のデータを保存できる光学式記録媒体
ブルーレイディスク	DVD より高容量のデータ保存が可能な光学式記録媒体
USB メモリ	小型で持ち運び可能なフラッシュメモリ式記録媒体
SD カード	デジタルカメラなどのデバイスで使用される小型のフラッシュメモリカード
キャッシュメモリ	CPU が直接アクセスする高速なメモリで、頻繁に使用されるデータや命令を一時的に保持する
主記憶	プログラムや作業中のデータを保持するためのメモリ
補助記憶	データやプログラムを長期間保存するための記憶装置
入出力インターフェース	コンピュータと外部のデバイスとの間でデータをやり取りするための物理的または論理的な接続点
アナログ	連続的な信号を扱うインターフェースで、主に音声やビデオ信号の伝送に使用される
デジタル	0 と 1 の 2 進数で情報を表現し、伝送するインターフェースで、高い信頼性と精度が求められる通信に適している
USB (Universal Serial Bus)	パソコンとさまざまな周辺機器を簡単に接続できる汎用インターフェース
IEEE1394	高速なデータ転送を実現するインターフェースで、特にビデオカメラや外部ストレージとの接続に用いられる
PCMCIA	ノートパソコンなどで使用される小型カード型インターフェースの規格を策定する団体で、この規格に基づいて作られたカードは一般に「PC カード」と呼ばれ、モデムやネットワークアダプター、ストレージデバイスなどの拡張機能を提供する

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)	高画質な映像と音声を一本のケーブルで伝送できるインターフェース
DisplayPort	主にパソコンやモニター間の映像伝送に使われるデジタルディスプレイインターフェース
アナログ RGB	コンピュータの映像信号を赤, 緑, 青の三原色で伝送する伝統的なインターフェース
DVI (Digital Visual Interface)	デジタルとアナログの両方の映像信号を伝送できるインターフェース
Bluetooth	短距離無線通信を実現するインターフェースで、スマートフォンやヘッドセットなどの接続に広く使われる
IrDA (Infrared Data Association)	赤外線を使った無線通信の規格
RFID (Radio Frequency Identification)	電磁波を使って情報をやり取りする技術
NFC (Near Field Communication)	非接触でのデータ通信を可能にする技術
デバイスドライバ	ードウェアデバイスをコンピュータのオペレーティングシステムが認識し、制御できるようにするソフトウェアコンポーネント
プラグアンドプレイ	新しいデバイスをコンピュータに接続した際に、自動的にデバイスを認識し、適切なドライバをインストールする機能
IoT デバイス	インターネットに接続され、データの収集や交換が可能な物理的なデバイス
光学センサー	光の強度や波長を検出して情報を取得するセンサー
赤外線センサー	赤外線を用いて物体の存在や温度を検出するセンサー
磁気センサー	磁場の変化を検出することで情報を得るセンサー

加速度センサー	物体の加速度を測定するセンサー
ジャイロセンサー	物体の傾きや回転を検出するセンサー
超音波センサー	超音波を使って距離を測定するセンサー
温度センサー	周囲の温度を測定するセンサー
湿度センサー	空気の湿度を測定するセンサー
圧力センサー	気体や液体の圧力を測定するセンサー
煙センサー	空気中の煙の粒子を検出するセンサー
アクチュエーター	電気信号を物理的な動きに変換するデバイス
OS(オペレーティングシステム)	コンピュータのハードウェアと応用ソフトウェアの間で仲介する基本ソフトウェア
Windows	マイクロソフト社によって開発された広く普及しているオペレーティングシステム
mac OS	アップル社によって開発されたオペレーティングシステムで、直感的なユーザーインターフェースと高い安定性が特徴
ChromeOS	Google 社によって開発されたオペレーティングシステムで、クラウドベースのアプリケーションとサービスを中心に設計されている
UNIX	高度なネットワーキング、マルチタスク、セキュリティ機能を備えたオペレーティングシステムの一つで、サーバ、ワークステーションでの使用に適しており、多くの派生システムの基盤となっている
Linux	オープンソースで開発された UNIX 系のオペレーティングシステムで、サーバから組み込みシステム、デスクトップまで幅広い用途で使用され、カスタマイズ性の高さが魅力
iOS	アップル社によって開発されたモバイルデバイス用のオペレーティングシステムで、iPhone や iPad などのデバイスで使用され、使いやすさとセキュリティが高く評価されている

Android	Google 社によって開発されたモバイルデバイス用のオペレーティングシステムで、オープンソースであり、スマートフォンやタブレットなど幅広いデバイスに採用されている
ファイル	データを保存するためのコンテナで、文書、画像、プログラムなど、デジタル形式の情報をコンピュータ上で保持し、アクセス可能にする基本的な単位
ディレクトリ	ファイルや他のディレクトリを整理して格納するための場所でフォルダとも呼ばれ、コンピュータ上のデータを論理的に整理し、管理するのに役立つ
ルートディレクトリ	ファイルシステムの最上位に位置するディレクトリで、システム上のすべてのファイルとフォルダの起点となる
カレントディレクトリ	ユーザーが現在作業しているディレクトリのことを指す
絶対パス	ファイルシステムのルートから目的のファイルやディレクトリまでの完全なパス
相対パス	現在のディレクトリを基準としたファイルやディレクトリの位置を指す方法
ファイル拡張子	ファイル名の末尾に付けられる短い文字列で、ファイルの種類やフォーマット
フラグメンテーション	ディスク上でファイルが分断されて非連続的に保存されること
ディレクトリ管理	ファイルとフォルダを論理的に整理し、データの保存とアクセスを容易にするプロセス
ファイル共有	ネットワーク上の複数のユーザーやデバイス間でファイルをアクセス可能にすることを指す
アクセス権設定	ファイルやフォルダに対するユーザーのアクセスを制御するプロセス
バックアップ	データの損失や破損から情報を保護するためのプロセス
世代管理	複数のバックアップデータを異なる時点で保持する方法

アーカイブ	長期間保存が必要なデータを管理するためのプロセスや技術
拡張子	ファイルの種類やフォーマットを示すためにファイル名の後に付けられるドット (.) に続く文字列
mp3	音楽やその他のオーディオを圧縮して保存するためのフォーマット
mp4	ビデオおよびオーディオコンテンツを保存するためのマルチメディアファイルフォーマット
jpeg	デジタル画像を圧縮するための一般的なフォーマット
png	デジタル画像を圧縮するための一般的なフォーマット
gif	複数の画像を 1 つのファイルに格納してアニメーションを作成できる画像フォーマット
pdf	文書を電子的に表示し印刷するためのフォーマット
zip	1 つ以上のファイルやディレクトリを圧縮して保存するためのファイルフォーマット
データ圧縮	ファイルサイズを減らすためにデータを効率的にエンコードするプロセス
圧縮率	圧縮前後でのデータサイズの比率を示す指標
可逆圧縮	元のデータを完全に復元できる圧縮方式
非可逆圧縮	圧縮後に元のデータを完全には復元できない圧縮方式
オフィスツール	ビジネスや学習で頻繁に使用されるソフトウェアの総称
文書作成ソフト	レポートや手紙、メモなど、さまざまな文書を作成するためのアプリケーション
表計算ソフト	数字の計算やデータ分析、グラフ作成などを行うためのアプリケーション
プレゼンテーションソフト	視聴者に情報を効果的に伝えるためのスライドを作成するアプリケーション
OSS (オープンソースソフトウェア)	ソースコードが公開されており、誰でも自由に利用、改変、再配布することが可能なソフトウェア

情報デザイン	情報を利用者が容易に理解し、効果的に活用できるように整理し、視覚的に表現するデザイン分野
ユニバーサルデザイン	年齢や文化、障害の有無や能力の違いなどにかかわらず、できる限り多くの人が快適に利用できるデザインを目指す考え方
インターフェース設計	システムとユーザーのやり取りを効率的かつ効果的に行うための設計手法
ヒューマンインターフェース	人間とシステムの間のやり取りを可能にするインターフェース
ユーザビリティ	製品やシステムが目的に合った使いやすさを持つこと
アクセシビリティ	障害の有無にかかわらず、すべての人が製品やサービスを利用しやすい状態
ジェスチャーインターフェース	手の動きや身体のジェスチャーを使ってシステムを操作する技術
VUI (Voice User Interface)	音声認識技術を活用し話し言葉でシステムを操作するインターフェース
GUI	グラフィカルな要素を用いてユーザーとシステムの対話をを行うインターフェースで、直感的な操作性が特徴
ウィンドウ	画面上に表示される枠組みで、情報の表示や操作を行うエリアを提供する
アイコン	ファイルやプログラムなどを象徴する小さな画像で、直感的に内容を理解できる
ラジオボタン	複数の選択肢の中から 1 つだけを選択するための UI 要素
チェックボックス	複数のオプションから複数選択可能な UI 要素
リストボックス	複数の選択肢を一覧表示し、ユーザーが選択できる UI 要素
ヘルプ機能	ユーザーが操作方法や情報を求める際に参照できる支援機能
メニューバー	アプリケーションの機能やコマンドを整理して表示する UI 要素

プルダウンメニュー	選択肢を隠しておき、必要に応じて表示させることができるメニュー
ポップアップメニュー	特定の操作を行った際に表示される一時的なメニュー
サムネイル	画像や動画などのコンテンツを小さく縮小表示したもので、内容を一覧できる
画面設計	利用者が直感的に理解しやすいインターフェースを作成することを目指した設計手法
帳票設計	情報を明瞭かつ整理された形で表示するためのレイアウト設計
Web デザイン	Web サイト全体のビジュアルや構造を計画し、実装するプロセス
CSS	Web ページのスタイルを定義するための言語で、レイアウトやフォント、色などの見た目を制御することができ、Web デザインにおいて不可欠な技術
モバイルファースト	モバイルデバイスを最優先に考えた Web デザインのアプローチ
マルチメディア	音声、画像、動画など複数のメディア形式を組み合わせて情報を表現する技術
Web コンテンツ	インターネットを介して公開される、テキスト、画像、動画などのコンテンツ
ハイパーメディア	テキスト、画像、音声、動画などの異なる種類のメディアがリンクによって結びつけられた形式のメディア
エンコード	データを特定の形式に変換するプロセス
デコード	エンコードされたデータを元の形式に戻すプロセス
ストリーミング	音声や動画などのメディアコンテンツを、完全にダウンロードする前にリアルタイムで再生する技術
DRM	デジタルコンテンツの不正使用を防ぐために設計された技術
CPRM	記録可能なメディアでのデジタルコンテンツの著作権保護技術
コンピュータグラフィックス	コンピュータによって画像や映像を処理する技術で、2次元と3次元で表現可能

プロジェクトマッピング	光を照射して、コンピュータの画像や映像をスクリーンなどに投影する装置を用いて、建築物の壁や空間に映像を投影する技術
4K/8K	次世代の高精細な映像規格 4K は現行ハイビジョンの 4 倍の画素数で、8K は現行ハイビジョンの 16 倍の画素数
データベース管理システム	データベースを管理するためのソフトウェアのこと で、データの追加、更新、削除などを効率的に行うこ とができる
関係データベース	データを表形式で管理するデータベース
SQL	リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) におけるデータ操作や管理を行うための 標準的な言語で、データの検索、追加、更新、削除な ど、データベース内での多様な操作を可能にし、複雑 なクエリやデータ分析を効率的に実行するための強 力な機能を提供する
リレーショナルデータベース管理システム	表形式のデータベースで関係性を持たせることができ る DBMS で、データ間の関係を利用して、複雑な クエリや分析を行うことが可能
NoSQL	伝統的なリレーショナルデータベースとは異なる構 造を持つデータベース技術の総称で柔軟なデータモ デルや高いスケーラビリティを提供する
キーバリューストア (KVS)	NoSQL データベースの一種で、シンプルなキーと値 のペアを用いてデータを格納するシステム
ドキュメント指向データ ベース	非構造化あるいは半構造化データを JSON や XML 形 式のドキュメントとして保存、管理するタイプの NoSQL データベースで、柔軟なデータモデルを持ち、 アプリケーションの変更に迅速に対応できる
グラフ指向データベース	データ項目間の関係性をグラフ構造で表現するデータ ベースで、ネットワークの分析やソーシャルメディ アの関係性解析など、複雑な関係性を持つデータ を効率的に扱うことができる

E-R 図

エンティティ同士の関係を図式化し、データ構造を視覚的に表現することで、システムの要件を明確にし、より効率的なデータベース設計を行う基盤を提供するツールで、データベース設計の初期段階で用いられる

主キー

データベース内の各レコードを一意に識別するための列（フィールド）であり、重複のない一意性を持つ主キーを設定する際には一意性、不变性、完全性が求められる

外部キー

異なるテーブル間の関係を表すために使用されるフィールドで、一方のテーブルの主キーを参照する

正規化

データベース設計において、データの冗長性を排除し、データの整合性を保持するために表を分けるプロセス

データ操作

データベースからのデータの抽出や更新など、データに対するさまざまなアクションを指す

排他制御

同時に複数のトランザクションがデータベース内の同じデータにアクセスする際に、データの整合性を保つために1つのトランザクションのみがそのデータを変更できるように制御する仕組み

トランザクション

一連の操作が全て完了するか、あるいは何も実行されないようにすることでデータの一貫性を保証する処理の単位

インターネット

ネットワーク同士を繋いだネットワークのこと

LAN

比較的狭い範囲内、例えば1つの建物や学校内のネットワーク

WAN

都市や国、またはそれ以上の広範囲にわたるネットワーク

有線 LAN

物理的なケーブルを使用してネットワークを構築する方法

無線 LAN

無線通信技術を用いてネットワークを構築する方法

Wi-Fi

無線 LAN 技術の一種であり、インターネットへの無線接続を提供する

Wi-Fi Direct	Wi-Fi デバイス同士がインターネットやルーターを介さずに直接通信を行える技術
メッシュ Wi-Fi	複数のルーターを使用して家全体に無線 LAN のカバレッジを広げる技術
WPS	無線 LAN の設定を簡単に行うための機能
MAC アドレス	ネットワーク上のデバイスを一意に識別するためのアドレス
IoT エリアネットワーク	IoT デバイスと IoT ゲートウェイを接続するネットワークで、さまざまな IoT デバイスから生成される大量のデータを効率的に収集し、処理するために必要なデータの処理をネットワークの端末側で行う技術で、これにより、中央のサーバへのデータ送信が不要になり、遅延を減らし、効率的なデータ処理が可能になる
エッジコンピューティング	近距離での無線通信を行うための技術
Bluetooth	従来の Bluetooth 技術よりも低消費電力で動作する通信技術で、スマートフォンやウェアラブルデバイス間の短距離通信に適しており、省エネルギー性が求められるアプリケーションに広く使用されている
BLE (Bluetooth Low Energy)	デバイス同士を近づけることで通信できる技術
NFC (Near Field Communication, 近距離無線通信)	低消費電力で広範囲をカバーするネットワーク技術で、主に IoT (Internet of Things) デバイスの通信に利用され、遠隔地のセンサーやデバイスからのデータ収集に適している
LPWA (Low Power Wide Area)	BLE を用いて特定の情報を周囲に定期的に発信するデバイスで、主に位置情報サービスや近接通知など、特定の場所における情報提供やアクションのトリガーとして活用される
Beacon (ビーコン)	bps (bits per second, ビット/秒) で表され、データを伝送する速度
伝送速度	コンピュータ同士が通信する際のルールや手順
プロトコル	

OSI 基本参照モデル	通信プロセスを 7 層に分けて標準化したもの
TCP/IP 階層モデル	インターネット通信の基盤となるプロトコルスタックで、4 層で構成される
IP アドレス	インターネット上のデバイスが他のデバイスと通信するために識別される一意の番号
DNS	インターネット上でドメイン名を IP アドレスに変換するためのシステム
電子メール	コンピュータ通信ネットワーク上で、文書や画像などの情報を伝達するための通信システム
To	電子メールを送る宛先を記入する欄 記入した宛先は、メールの受信者全員が確認できる
Cc	電子メールを共有する相手を記載する To と同様に記入されている宛先は、メールの受信者全員が確認できる
Bcc	記入された宛先はメールの他の受信者は確認できない
IMAPS (アイマップエス, IMAP over SSL/TLS)	伝送路を暗号化する SSL/TLS を組み合わせたもの
cookie	Web サイトの訪問者がそのサイトを利用する際に、ユーザーのブラウザに保存されるデータ
RSS	Web サイトの更新情報を配信するためのフォーマット
MIME	電子メールでテキスト以外のファイル（画像、音声、動画など）を送受信するためのインターネット標準規格
オンラインストレージ	インターネットを介してアクセスできる仮想のデータ保管サービス
回線通信事業者	電話回線やインターネット接続用の通信回線を提供する企業
インターネット接続サービス事業者	個人や企業にインターネット接続サービスを提供する事業者

仮想移動体通信事業者	自身の通信インフラを持たず、他のモバイルネットワークオペレーター（MNO）の通信網を借りてサービスを提供する事業者
MIMO	複数の送信アンテナと受信アンテナを用いることで、データ伝送の速度と信頼性を大幅に向上させる無線通信技術
パケット通信	データを小さなパケットに分割して送受信する通信方法
モバイル通信	移動中でも通信が可能な、携帯電話やスマートフォンなどのデバイスを用いた通信方式
基地局	携帯電話などのモバイル通信デバイスと通信するために設置される無線装置
AP（アクセスポイント）	無線 LAN 環境におけるワイヤレスデバイスがネットワークにアクセスするための接続点
IP 電話	インターネットプロトコルを利用して音声情報をデータパケットとして送受信する電話
光通信	光ファイバーケーブルを通じてデータを光信号として高速に送受信する通信技術
ハンドオーバー	移動中のデバイスが 1 つの基地局から別の基地局へ通信を引き継ぐプロセス
ローミング	ユーザーが自分のネットワークプロバイダーのサービスエリア外で通信サービスを利用すること
キャリアアグリゲーション	複数の周波数帯を組み合わせて通信速度を向上させる技術
テザリング	スマートフォンなどのモバイルデバイスを無線モデムとして利用し、他のデバイスにインターネット接続を提供する機能
SIM カード	携帯電話などのデバイスにユーザー情報や通信事業者の情報を記録する取り外し可能な小型のカードのこと
eSIM（embedded SIM）	デバイスに組み込まれた再プログラミ可能な SIM カード
テレマティクス	通信技術と情報技術を組み合わせたシステムで、遠隔から車両などの状態を監視・制御すること

情報セキュリティ	企業や個人の情報資産を守ること
情報資産	企業や組織などで保有しているあらゆる情報
サイバー空間	インターネットをはじめとするデジタルネットワーク上の仮想的な空間
サイバー攻撃	サイバー空間上で行われる悪意ある行為
脅威	企業が保有する情報資産に損失を与える要因で、人的脅威、技術的脅威、物理的脅威の3つが挙げられる
人的脅威	情報セキュリティにおいて、意図的もしくは非意図的な人間の行動によって引き起こされるセキュリティ上の脅威
技術的脅威	情報セキュリティにおいて、ソフトウェアやハードウェアの脆弱性を悪用することで生じるセキュリティ上の脅威
物理的脅威	コンピュータシステムやデータセンター、ネットワーク機器などの物理的な環境に対して直接的なダメージを与えるような脅威
脆弱性	情報システムのセキュリティに影響を及ぼす潜在的な弱点
バグ	ソフトウェアのプログラム上に存在する誤りや欠陥のことで、予期しない挙動やシステムのクラッシュを引き起こす原因となる
セキュリティホール	ソフトウェアやシステム内に存在するセキュリティ上の弱点で、未認証のアクセスや不正な操作を可能にするもの
シャドーIT	従業員が組織のIT部門の管理や承認なしに自ら導入・使用するITリソースのこと
不正のトライアングル	人の不正行為が発生する心理的要因を説明した理論のことで、主に3つの要素（機会、動機、正当化）から構成される
機会	セキュリティ対策の不備、監視の不足、管理体制の甘さなど、不正行為を行うための状況や環境が整っている状態

動機	経済的な困難、個人的な欲望、職場での不満、キャリアの停滞など、不正行為を行う個人的な理由やプレッシャー
正当化	不正行為を行う人が、自分は被害者である、会社は自分を公正に扱っていない、誰も損をしていないなど、自分の行動を正当化する心理的メカニズム
辞書攻撃	あらかじめ準備した単語のリスト（辞書ファイル）を使ってパスワードや暗号鍵を推測する攻撃手法
総当たり（ブルートフォース）攻撃	可能なすべての文字列の組み合わせを用いてパスワードを推測する攻撃手法
パスワードリスト攻撃	他のサービスから漏えいしたパスワードのリストや不正に入手したパスワードのデータベースを用いてアカウントへの不正アクセスを試みる攻撃手法
クロスサイトスクリプティング	悪意のあるスクリプトを Web ページに仕込み、他のユーザーのブラウザ上で実行させる攻撃
クロスサイトリクエストフォージェリ	ユーザーがログインした状態の Web アプリケーションに対して、ユーザーの意図しない操作を強制させる攻撃
クリックジャッキング	透明なフレームやレイヤーを用いてユーザーに気づかせずに別のページ上のボタンをクリックさせる攻撃手法
SQL インジェクション	Web アプリケーションがデータベースとやり取りする際の SQL クエリに悪意あるコードを挿入し、不正にデータを操作したり、機密情報を抜き取ったりする攻撃手法
セッションハイジャック	ユーザーが Web アプリケーションにログインしている際のセッション ID を盗み取り、そのユーザーになりすまして操作を行う攻撃
DoS 攻撃	Web サイトやネットワークに大量のリクエストを送りつけることでサービスを利用不能に追い込む攻撃
DDoS 攻撃	分散型サービス妨害攻撃で、複数の攻撃元から同時に DoS 攻撃を行い、サーバやネットワークをダウンさせる手法

クリプトジャッキング	ユーザーのコンピュータ資源を無断で使用して仮想通貨のマイニングを行う攻撃
ゼロデイ攻撃	脆弱性が公に報告される前にその脆弱性を利用した攻撃
フィッシング	正規の組織を装ってユーザーから個人情報を騙し取る詐欺行為
リスクマネジメント	組織が直面するさまざまなリスクを効果的に管理し、最小限に抑えるためのプロセス
リスク移転（共有）	リスクが現実化した際の損失を第三者に移転する方法
リスク回避	リスクを発生させる要因を取り除くことによって、リスクそのものを完全に排除する方法
リスク低減	リスクの発生確率を下げるか、リスクが顕在化した際の影響を最小限に抑えるための具体的な措置を講じる方法
リスク保有	リスクの対応を実施せずに、特定のリスクを受け入れる選択をすること
情報セキュリティマネジメントシステム	機密性、完全性、可用性という情報セキュリティの3つの要素を維持、改善するための仕組み
PDCAサイクル	Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価・点検）、Action（対策・処置）の4つのプロセスを繰り返し、業務を継続的に改善する手法
情報セキュリティポリシー	情報セキュリティに関する企業や組織の取り組みや対策を規定した文書で、情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準、情報セキュリティ実施手順の3つから構成される
個人情報保護法	個人を識別できる情報を適切に取り扱うための法律
人的セキュリティ対策	従業員や関係者の意識や行動を対策として取り入れること
情報セキュリティ啓発	社内研修や啓発ポスターなどを通じて、従業員に情報セキュリティの重要性を理解させるための活動
情報セキュリティ訓練	実際のセキュリティ脅威に対する反応や対処方法を学ぶための訓練

監視	情報システムやネットワークの利用状況を監視し、不審な活動や違反行為を検知すること
組織における内部不正防止ガイドライン	従業員が内部で不正行為を行わないようにするためのルールや方針
アクセス権	情報資源へのアクセスを許可されたユーザーやグループに与えられる権利
技術的セキュリティ対策	セキュリティインシデントを防ぐために技術的な手段を利用すること
アクセス制御	ユーザーがシステムやデータにアクセスする際の権限を管理する仕組み
ファイアウォール	不正アクセスや攻撃からネットワークを保護するためのシステム
WAF	Web アプリケーションを対象とした攻撃から保護するための対策
DMZ (非武装地帯)	インターネットと内部ネットワークの間に設けられる、セキュリティ対策が施されたネットワーク領域
SSL/TLS	インターネット上でデータを暗号化して通信するためのプロトコル
VPN	インターネット上に仮想的なプライベートネットワークを構築する技術
IDS (Intrusion Detection System)	侵入検知システム 不正アクセスや攻撃を検知するシステム
IPS (Intrusion Prevention System)	侵入防止システム 検知した不正アクセスや攻撃を自動的に防ぐシステム
DLP (Data Loss Prevention)	データ漏えい防止技術 重要なデータが外部に漏れ出るのを防ぐ
SIEM (Security Information and Event Management)	セキュリティ情報とイベント管理 セキュリティに関する情報を収集・分析し、管理するシステム

検疫ネットワーク	感染したと思われるデバイスを隔離するネットワーク領域
MDM (Mobile Device Management)	スマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスを集中管理するためのシステム
電子透かし	デジタルコンテンツに透かしを入れ、著作権情報を埋め込む技術
デジタルフォレンジックス	デジタルデバイスから証拠を収集・分析する技術
ペネトレーションテスト	セキュリティが十分かを試すために、意図的に攻撃を仕掛けるテスト
ブロックチェーン	データを改ざんしにくい分散型台帳技術
耐タンパ性	物理的あるいは論理的な攻撃に対する耐性
セキュアポート	信頼できるソフトウェアのみが起動するようにする起動時のセキュリティ対策
TPM (Trusted Platform Module)	ハードウェアベースのセキュリティ機能を提供するチップ
PCI DSS	クレジットカード情報のセキュリティを確保するための国際的な基準
物理的セキュリティ対策	機器や資料の物理的な保護
監視カメラ	施設内外の監視を行うカメラ
施錠管理	施設や資産を保護するための鍵管理
入退室管理	不正なアクセスを防ぐため、認証手段を用いて入退室を制御するシステム
クリアデスク・クリアスクリーン	不在時には机の上や画面に機密情報を残さないポリシー
セキュリティケーブル	ノートパソコンなどの移動式機器を固定するためのケーブル
遠隔バックアップ	災害や事故からデータを保護するため、物理的に離れた場所にバックアップを取ること
暗号化技術	データを特定のルールやアルゴリズムを用いて、第三者が理解できない形式に変換すること

共通鍵暗号方式	暗号化と復号化に同じ鍵を使用する暗号方式
公開鍵暗号方式	暗号化には公開鍵を、復号化には秘密鍵を使用する暗号方式
ハイブリッド暗号方式	共通鍵暗号方式の高速性と公開鍵暗号方式の鍵配布の利便性を組み合わせた暗号方式
ハッシュ暗号化	データを一方向の変換処理により固定長のハッシュ値に変換すること
ディスク暗号化	ハードディスクや SSD などの記憶媒体全体、または特定のパーティションを暗号化すること
ファイル暗号化	個々のファイルやフォルダを暗号化することにより、不正アクセスから保護する技術
デジタル署名	公開鍵暗号方式を利用し、通信された内容が改ざんされていないことを保証するための技術
公開鍵基盤	個々の公開鍵がその所有者のものかを証明するための仕組み
デジタル証明書	公開鍵基盤 (PKI) において、特定の個人や組織が正当であることを証明するための電子証明書
サーバ署名書	サーバの身元を認証し、クライアントと安全に通信を行うためのデジタル証明書のこと
クライアント署名書	クライアント自身の身元をサーバや他のクライアントに証明するために用いられるデジタル証明書
認証局	デジタル証明書を発行し、公開鍵と所有者の身元を認証する役割を持つ信頼できる第三者機関
証明書失効リスト	何らかの理由で無効となったデジタル証明書の一覧
認証技術	セキュリティのため個人が本人であることを確認する技術
署名鍵/検証鍵	公開鍵暗号を応用したデジタル署名で、この鍵ペアを使用することで、データの改ざんの有無の検証及び送信者の真正性の確認が可能になる
タイムスタンプ (時刻認証)	デジタルデータに正確な時刻情報を付与し、その時点でのデータの状態を証明する技術

生体認証	指紋, 顔認証, 虹彩認証など個人の生体情報を用いて本人確認を行う技術で, セキュリティが高く, 利便性に優れている
アクセス管理	ユーザーがシステムやネットワーク上のリソースにアクセスする際の権限を制御し, 許可されたユーザーのみが特定の情報や機能にアクセスできるようにするプロセス
IC カード	組み込まれた集積回路 (IC チップ) を利用してデータを記録・処理することができるプラスチック製のカード
ワンタイムパスワード	短時間のみ有効な一時的なパスワードで, 每回ランダムに生成されるため時間が経過すると無効になる
多要素認証	2つ以上の異なる種類の認証要素を組み合わせて利用者の身元を確認するセキュリティ手法
SMS 認証	ショートメッセージサービス (SMS) を利用した認証方法
シングルサインオン	複数の異なるシステムやサービスに対して, 一度のログイン操作でアクセスを可能にする認証システム